

専門的・技術的分野における外国人材の受入れに関するタスクフォース幹事会（第４回）
議事概要

日 時：平成 30 年 3 月 14 日（水）14:00～

場 所：合同庁舎 8 号館 共用 B 会議室

出席者：佐々木法務省大臣官房審議官（入国管理局担当）〈副議長〉、彦谷内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付）、杉山内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付）、古舘内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付）、河西内閣府政策統括官（経済財政運営担当）付参事官（産業雇用担当）、藤原警察庁刑事局組織犯罪対策部組織犯罪対策企画課課長補佐（※代理出席）、近江法務省入国管理局総務課企画室長（※代理出席）、高橋外務省領事局外国人課長、弓厚生労働省職業安定局雇用政策課長、赤松厚生労働省職業安定局外国人雇用対策課長、伊藤経済産業省大臣官房参事官（経済産業政策局担当）兼産業人材政策室長、風木経済産業省製造産業局総務課長、吉野経済産業省大臣官房商務・サービスグループ参事官、林経済産業省商務・サービスグループ消費・流通政策課長、村田国土交通省総合政策局政策課長、田村観光庁観光産業課観光人材政策室参事官、埴崎国土交通省航空局総務課政策企画調査室長
（以下、オブザーバー）中原内閣官房日本経済再生総合事務局参事官、遠藤内閣官房健康・医療戦略室主査（※代理出席）、大津内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官、根岸内閣官房人生100年時代構想推進室参事官、福田内閣府規制改革推進室参事官、塩見内閣府地方創生推進事務局参事官、風早総務省自治行政局地域政策課国際室長

1. 議事

各業種の現状に関するヒアリング

2. 配布資料

資料 1 経済産業省資料

資料 2 国土交通省資料

3. 議事内容

- （１） 経済産業省から、製造・小売の各分野の現状について、それぞれ説明があった。
- （２） 説明後、出席者から下記のような意見等があった。
 - ・ 長期的な制度の設計となることが見込まれることから、将来も見据えた形で更なるニーズ把握を行っていくことが重要である。
 - ・ 専門性・技術を有する外国人材のニーズの洗い出しに当たっては、その規模感についても、精査を続けていくことが必要である。その際、「どの分野」に人が足りないか、という観点だけではなく、今回の制度の趣旨を踏まえ、「こういった技能」という点に着目して検討することも必要ではないか。
 - ・ 技能実習制度等の先行する制度を参考にすることも必要。
- （３） 国土交通省から、観光・航空の各分野の現状について、それぞれ説明があった。
- （４） 説明後、出席者から下記のような意見等があった。
 - ・ 分野によっては、外国人材へのニーズが地域によって異なる可能性はあると考え得る。
 - ・ 各分野において提供できるサービスの質を担保することは必要であり、そのためにも、

日本語能力の点も含めた、専門性・技術を有する外国人材が求められているというのが現状であろう。

- ・ 業としての魅力を高めて打ち出していくことが、人材確保につながるということも考慮する必要がある。

以 上